

あそしえ 通信

VOL.35

令和3年10月1日

発行：社会福祉法人あそしえ

法人本部	浜松市南区金折町 804-1 TEL 053-545-9754 FAX 053-545-9764
相談支援室ゆい(相談支援)	浜松市南区金折町 804-1 TEL 053-545-9764 FAX 053-545-9764
るいぶん(生活介護)	浜松市南区金折町 807-1 TEL 053-427-1190 FAX 053-427-1200
あそり(就労継続支援B型)	浜松市南区金折町 957-2 TEL 053-544-5488 FAX 053-544-5488
フォーワン(共同生活援助)	浜松市南区金折町 804-1 TEL 053-545-3741 FAX 053-545-3715
しき(短期入所)	浜松市中区舘塚二丁目 6-13 TEL 053-489-3200 FAX 053-489-3216
ゆりかご(児童発達支援)	

非常用自家発電機及び避難タワーを設置しました

フォーワン 原田美登里

国の令和2年度社会福祉施設等施設整備費補助金を活用し「非常用自家発電機」及び「避難タワー」設置工事を行い、今年8月に完成しました。設置理由は、近年、各地で未曾有の水災害が各地で起こっているからです。フォーワンも数年前の大型台風による停電を経験しました。1日とは言え、夜に電気が点かない生活は、ご利用者さんにとって大変不安に感じられたと思います。フォーワンのご利用者さんは、自分なりのルーティンや生活リズムが決まっている方もいます。急な予定の変更や変化が苦手な方もいます。「もしも停電が2日、3日と続いたら・・・」といった不安や心配を少しでも払拭するために設置工事を行いました。



フォーワンは、天竜川流域ハザードマップにおいて想定最大浸水深 3.05mの場所に位置しています。そのため非常用自家発電機は、高さ 3.05m以上の場所に設置することが必須条件でした。当初は2階のベランダに設置することを考えましたが、重量は2トン以上もあるため、重さに耐えられないとのことでは出来ませんでした。そのため架台を造り、その上に非常用自家発電機を設置することになりました。架台は重量鉄骨で杭もかなり深くまで打ちました。架台の高さと頑丈さを

利用して、非常用自家発電機を置くだけでなく、避難タワーとしても活用出来るようにしました。停電時には自動的に非常用自家発電機が作動し、電源が切り替わります。建物内の全ての電源をまかなうことはできませんが、必要最低限の照明、空調、冷蔵庫、事務室の電源を確保しました。同敷地内にある法人本部にも非常用自家発電機を繋げ、非常時にも本部機能を維持できるようにしました。

非常用自家発電機設置により、ご利用者さんと職員の最低限の安心と安全を確保することが出来ました。1年に1回、メンテナンスや動作確認を兼ねて使用訓練を行う予定です。

フォーワンは、地域のお祭りや餅まきに毎年参加させていただいています。ご利用者さんは、参加することを楽しみにしています。地域の皆さまは、ご利用者さんを温かく受け入れてくださり、さりげなく声を掛けてくださいます。避難タワーを非常時には地域の皆さまにも活用していただきたいと思います。ご利用者さんだけでなく、地域の皆さまの安心と安全を守る役割を担える事業所でありたいと考えています。

新型コロナウイルス感染症クラスター発生について

生活介護事業所えくらんにおいて大規模な新型コロナウイルス感染症（クラスター）が発生し、ご迷惑とご心配をお掛けしましたことをお詫び申し上げます。

利用者の皆様やご家族の皆様も多く感染されました。入院された方もいらっしゃいました。えくらん利用者の皆様には長い休所を余儀なくすることとなり、ご不自由をお掛けしました。地域、職場、学校など各方面に対しましても、多大な影響を及ぼしてしまいました。重ねてお詫び申し上げます。

浜松市と全国手をつなぐ育成会連合会からは支援物資を頂きました。地域の皆様からは、励ましの言葉も頂きました。本当にありがとうございました。

ワクチン接種が始まっていますが、接種が済んでも感染のリスクが無くなるわけではありません。基本的な感染対策を徹底し、感染予防に努めて参ります。

社会福祉法人あそしえ
理事長 大場栄雄

6月下旬に数人のご利用者が発熱し、事業所の簡易キット検査により、お一人の陽性が確認されました。その後、保健所からご利用者と職員全員のPCR検査の指示があり、職員18名のうち3名の陽性の報告を受け、翌日にはご利用者14名の陽性報告を受けたため、その日から事業所を2週間の休所としました。

世間では感染拡大が続いており、危険性は十分認識し感染予防対策を行っていましたが、「陽性」の言葉は事業所に重くのしかかってきました。休所中は一部職員によるご利用者や職員の状況確認、保健所や障害保健福祉課等との連絡調整に奔走している毎日でした。そのような中、ご利用者のご家族にも陽性の方が少しずつ出始め、自宅療養のみならずホテル療養や入院となる方もおり、中には親子で入院を余儀なくされたご家族もいて、あらためて新型コロナウイルスの怖さを実感しました。

最終的には職員3名、ご利用者18名、ご家族十数名と多くの方が感染する結果となりました。通所事業所は、ご利用者や職員だけでなくその家族も含めると多くの方の関わりがあることの怖さを痛感しました。今回は多くの方にご迷惑とご心配をお掛けし、申し訳ございませんでした。再びこのようなことが起こらないよう職員一同感染予防に努めて参りますので、今後ともご理解ご協力をお願いいたします。

生活介護事業所えくらん
管理者 山本修二

新型コロナウイルス感染拡大防止の取組みについて

えくらん・・・安心安全に過ごせるように・・・

今回のクラスター発生を受け、感染拡大防止策や再発防止策について検討をしました。以下の対応を徹底し、ご利用者、ご家族、地域の皆様が、安心安全に過ごせるように感染対策に努めて参ります。

- 検温表や連絡ノートでのご利用者の健康状態の把握を継続して行います。
- 定時及び随時の事業所内の消毒を行います。
- 職員は、食事介助や口腔ケアをする際にフェイスシールドと手袋の着用をします。
- 送迎車両や事業所内の換気を行います。
- ご利用者のマスク着用、手指消毒の支援を行います。マスク着用や手指消毒が苦手なご利用者には、ご本人の状況に配慮しながら支援します。
- ご利用者やご家族、来客者等が、事業所内に立ち入る際には、検温や手指消毒を行います。

あぐり・・・熱中症にも気を付けながら・・・

あぐりでは、利用者さんと一緒に決めている毎月の標語に、「手洗い、うがい、マスク、アルコール消毒」などを取り入れ、感染予防を意識し取り組んでいます。路線バスの利用を控えていただき、ご家族に送迎をお願いしています。ご家族での送迎が難しい方には事業所で送迎を行っています。密を防ぐため、昼食は時間差で少人数毎にし、席の間隔を空け、向かい合わないよう工夫しています。

えくらんでクラスター発生後は、より一層マスクの着用を徹底するようにしています。作業中は定期的に換気を行うようにしています。送迎や施設外作業に出掛ける際は、車内での換気もこまめに行っています。施設外作業では、マスク着用による熱中症対策として休憩の回数を多くし、こまめに水分補給をするようにしています。

フォーワン・・・「持ち込まない」を前提に・・・

フォーワンはクラスター化しやすい環境のため、共用部分の消毒を徹底しています。特に気をつけていることは、密にならないことです。飛沫感染が懸念される食事、口腔ケア等は時間をずらして行っています。食事中に対面する場合はアクリルパーテーションを設置しました。風が通るように窓を開け、天井空調の送風を利用し、室内の換気をしています。

職員は常に不織布マスクを着用し、ご利用者さんに接する時はフェイスシールドを着用し飛沫感染予防を行っています。ご利用者さんの体調管理は、毎朝の検温と風邪症状等の有無を確認し、体調管理表で情報を共有しています。パルスオキシメーターを常備し、体調変化があった場合には測定します。

日常でも不要不急の外出はなるべく避け、ウイルスを「持ち込まない」ことを大前提に感染予防をしています。

ゆりかご・・・コロナ禍でも「触れる」ことを大切に・・・

目に入る物全てが新鮮で何にでも興味を持つ子どもたちは、色々な物を触ります。外に出ればダンゴムシ、バッタ、セミ、アリ、葉っぱ、室内では床に落ちている小さな紙でさえおもちゃになります。生き物や物に触れる事は、子どもにとって大切な事です。「触らないように」ではなく、環境設定やその後の対応が大切だと考えます。コロナ禍の1年半以上の間に、子どもたちは手洗いが上手になったり、アルコールを見ると両手を広げて出してくれたりするようになりました。虫かごに入った生き物を一人ずつ順番に見る事ができるようになりました。

職員は、定期的に感染対策を見直しながら、毎日の掃除の徹底、活動時の消毒、食事や昼寝時の配置の工夫、活動内容の検討、換気などを行っています。今後もコロナ禍でも子どもたちが「楽しい」と感じる体験や、「できた」という経験を多くできるように取り組んでいきます。



役員改選のお知らせ

(順不同、敬称略、※印は新任)

職名	氏名	現職・所属	職名	氏名	現職・所属
理事	大場栄雄	あそしえ理事長	評議員	安藤幸枝	浜松市浜松手をつなぐ育成会理事
	内山美知夫	社会福祉法人恵会理事長		小出隆司	全国手をつなぐ育成会連合会副会長
	平岡直子	税理士事務所所長		黒田 豊	浜松市議会議員
	石野八須子※	社会福祉法人浜松乳幼児福祉会評議員		伊藤 栄	社会福祉法人天竜厚生会常務理事
	原田美登里	フォーワン管理者		犬居和賀代	芳川南地区民生委員児童委員協議会会長
	山本修二	えくらん管理者		水崎裕久	NPO 法人地域生活応援団あくしす副理事長
監事	古山武幸	あそしえ家族会		山口 浩	社会福祉法人ほなみ会理事
	古橋 誠	社会福祉法人小羊学園理事		大橋正季	社会福祉法人ひかりの園 すてっぷ管理者

令和2年度決算報告（令和3年3月31日現在）

貸借対照表	
勘定科目	金額(千円)
資産の部 ①流動資産	81,680
②固定資産	355,225
(1) 資産の部合計	436,905
負債の部 ①流動負債	33,909
②固定負債	39,682
(2) 負債の部合計	73,591
純資産の部 ①基本金	51,406
②国庫補助金等特別積立金	68,606
③その他の積立金	78,501
④次期繰越活動増減差額	164,801
(3) 純資産の部合計	363,314
負債及び純資産の部合計	436,905

資金収支決算状況	
勘定科目	金額(千円)
事業活動収入計 (1)	187,384
事業活動支出計 (2)	170,118
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	17,266
施設整備等収入計 (4)	4,478
施設整備等支出計 (5)	9,048
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△ 4,570
その他の活動収入計 (7)	0
その他の活動支出計 (8)	1,984
その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	△ 1,984
予備費支出 (10)	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	10,712
前期末支払資金残高 (12)	53,479
当期末支払資金残高 (13)=(11)+(12)	64,191

※報告書の全文は、法人ホームページ又は独立行政法人福祉医療機構の財務諸表等電子開示システムで閲覧できます。

事業活動収支状況	
勘定科目	金額(千円)
サービス活動収益計 (1)	186,624
サービス活動費用計 (2)	179,146
サービス活動増減差額 (3)=(1)-(2)	7,478
サービス活動外収益計 (4)	760
サービス活動外費用計 (5)	1,069
サービス活動外増減差額 (6)=(4)-(5)	△ 309
特別収益計 (7)	4,849
特別費用計 (8)	4,478
特別増減差額 (9)=(7)-(8)	371
当期活動増減差額 (10)=(3)+(6)+(9)	7,540
前期繰越活動増減差額 (11)	158,928
当期末繰越活動増減差額 (12)=(10)+(11)	166,468
基本金取崩額 (13)	0
その他の積立金取崩額 (14)	0
その他の積立金積立額 (15)	1,667
次期繰越活動増減差額 (16)=(12)+(13)+(14)-(15)	164,801

焼き芋はじめます！！

大 400円 中 300円 小 200円

月・木 11時～15時
第2土 14時～16時

あぐり
☎053-544-5488

11月～
期間限定
数量限定

あそしえ後援会ご入会・ご継続のお願い

みなさまのご善意により後援会を運営しております。スポーツデイやクリスマス会などの行事にボランティアとして参加、成人を祝う会やゆりかご卒園式には記念品の贈呈などを行っています。

あそしえ後援会

「あそしえ」への財政的協力・支援活動
「あそしえ」の広報活動
会員相互の交流 その他活動

ご支援ご協力お願いいたします

年会費 個人会員 一口 1,000円
法人会員 一口 10,000円
郵便振替 00890-0-100480「あそしえ後援会」

ご加入・ご継続者 （令和3年3月～令和3年8月、順不同、敬称略）	
青木喬（株）飯田組（株）アズ・フレックス 杉浦直人 山本妙子 山本長行（株）トレードトラスト	
美和勇一郎 小桐正彦 弁護士法人安間・守田法律事務所 鈴木厚志 宮崎啓太 山口勝義 嶋泰子	
加茂福史 猪原谷文 新井淑恵 中村皇積 齋藤弓子 池田佳世 加藤さえ 伊東美幸 天野正彦	
竹内公一 竹内三紀子 神谷健太 鈴木啓一税理事務所 中島千春 望月隆明 石樽太一 小田史子	
松尾志津子 東名興産(株) (有)マツオ工機 (有)三銀堂不動産 アーネスト・ララカ・シルバー	
KONOIKE Co.(株) 内田賢一 吉野いづみ (株)ハクト 中村穎子 影山忠弘 高林久二夫 白尾恂	
角田幸一 盛岡茂子 翔映自動車(株) 佐々木成明 佐々木右子 日内地孝夫 高橋和良 森園直美	
安間みち子 花崎佳子 木村満雄 加藤五十鈴 匿名希望3名	



社会福祉法人ひかりの園 すてっぷ管理者
あそしえ評議員
大橋 正季



障害のある方たちの地域での暮らし

東京オリンピックでも何度も耳にした「多様性」という言葉。様々な人々が、それぞれの慣習や価値観をお互いに認め合うような社会の実現。人種や性別による差別や不平等の是正を掲げる「SDGs」という言葉もよく聞かれるようになってきました。

「障害のある方たちの暮らし」についても、ここ10年で状況は少しずつ多様な方向へと変わってきたように思います。かつて、障害のある方たちの暮らす場と言えば、「自宅」か「大規模な入所施設」。この2つしか選択肢がないような状況でした。主な介護者であるご家族の高齢化などで自宅での生活が行き詰まってしまった時には、遠方にある大規模な施設に入所するしか選択肢がないという時代が長く続いていました。障害のある当事者さんがそれまで何十年とその地域で築いてきたものが、施設への入所によって「ぶつ切り」になってしまう。これはご本人にとっても、ご家族にとっても、そして地域にとっても大きな損失であったかと思います。

そこに登場したのが、あそしえでも運営しているグループホーム（以後「GH」と表記）という新しい選択肢でした。GHとは4～7名程度の小規模な暮らしの場です。大規模な施設での暮らしは、どうしても集団での単調で画一的な生活になりがちなのですが、GHは小規模なため、入居されている方お一人お一人の希望に添った暮らし方を提供できるメリットがあります。このGHという新しい暮らしの場は、平成元年に制度化されて以降増加の一途をたどり、令和2年の全国調査では大規模な施設の入所者数をGHの入居者数が上回ったとされています。浜松市内でも多くの社会福祉法人に加え、近年ではNPO法人や株式会社も参入し、GHが増えてきました。また、全国ではまだ数が少ないものの、重度の知的障害のある方が24時間の支援を受けながら地域のアパートで一人暮らしに挑戦するケースや、シェアハウスに障害のある方も入居する取り組みも行われています。浜松市内でもそうした先駆的な取り組みを始めているNPO法人もあります。

GHの大きな利点は、制度上では「施設」ではなく「在宅」の扱いになるため、訪問系サービスも併用できることです。個人でヘルパーさんと外出し、余暇や社会参加を楽しむ「移動支援」や、持病があったり、通院が困難になった場合に医師や看護師が訪問してくれる「訪問診療」「訪問看護」が活用できます。このことは利用者さんが地域で豊かに暮らすために、とても大きな支えになっています。私が勤務する社会福祉法人ひかりの園のGHでも80歳近い利用者さんが、昼間は介護保険のデイケア施設に通い、体調不良の時は訪問診療や訪問看護を利用することで元気に暮らすことができています。移動支援は特に人気で、毎回色々な場所に出かけることを心待ちにしています。こうして外部の支援を併用できることは利用者さんの生活が豊かになるだけでなく、同じ法人の中だけになりがちな人間関係や狭くなりがちな世界を広げることに繋がっています。今年2月には外部の支援機関とも連携をして、いわゆる「看取り介護」もGHで行いました。寂しく辛い別れでしたが、最期まで長年の付き合いを切らずに関われたこと、お別れまでの濃厚な時間は私たちにとっても大切な思い出になりました。

このように、障害のある方の暮らし方はGHを含め、少しずつ拡充してきていますが、まだまだ発展途上、課題は山積みです。今後もあそしえを含め、多くの関係者の方々と切り拓いていきたいと考えています。



令和2年度 苦情等の受付・対応状況について

令和2年度は、4件の苦情、41件の意見要望を頂きました。今後も真摯に対応していきたいと思ひます。

	えくらん	あぐり	フォーワン・とも	ゆりかご
苦情件数	0	2	0	2
意見要望件数	8	15	1	17

主な内容（公表可のみ）

苦情・意見・要望内容	事実確認及び対応
新型コロナウイルスのワクチン接種を、かかりつけ医がない方や大規模接種会場での接種に困難さを感じているご家庭が多くあると思うので、えくらんで接種出来れば本人や家族の気が楽になるのではないかと。	えくらんでのワクチン接種が可能かどうかを嘱託医に相談をした。えくらんでのワクチン接種が可能となり、7月26日に1回目、8月16日に2回目のワクチン接種を実施した。
（請負企業より） 納品日に納品物が届いていない。	納品日の確認不足により、納品できていなかった。その後は、納品日をダブルチェックして確認している。
（グループホームご利用者家族より） 家族の状況が変わったため、長期休暇時の長い期間の帰省は難しい。	ご家族と話し合いを行い、数日程度であれば家族で協力しながら対応していただけることになった。
散歩など大勢で歩く時は、楽しみながらも注意点やルールを伝え、丁寧な声掛けをしてほしい。	会議にて、散歩での注意点や声掛けの仕方、子どもと関わる上で大切にしていける事などの意見を出し合った。室外活動に限らず、活動での職員の動きや声掛けの仕方などを定期的に振り返り、共通意識を持てるようにした。

ご協力ありがとうございました（令和3年3月～令和3年8月、順不同、敬称略）

ご 寄 附 日本形染(株) (有)ノサキ電器 (株)一条メンテナンス (有)木元文昭 京丸園(株) マックスバリュ浜松和田店 マックスバリュ浜松立野店 マックスバリュ浜松助信店 イオン浜松市野店 イオン浜松西店 南部協働センターパセリ会 あそしえ後援会 (株)三備 浜松市障害保健福祉課 全国手をつなぐ育成会連合会 中村真由美 永井茂夫 加藤さえ 刑部利江 石博太一 匿名希望1名

ア ル ミ 缶 (有)みずの加工 鈴木恵子 河合秀敏 西伊場風揚げ会 鴨江八日会 袴田智恵美 (有)木元文昭 小池富子 宮本恵子 刑部利江 (株)アズ・フレックス

ご報告 令和2年度のアルミ缶の売り上げは、61,380円(1,150kg)でした。ご協力ありがとうございました。

ご利用者家族からのご寄附・ご協力は割愛させていただいております。地域の皆様にもご協力いただいております。いつもありがとうございます。

あそしえ通信のメール配信を始めました

ご希望の方は、件名に「法人誌のメール配信希望」と明記し、本文に下記①～④の必要事項をご記入のうえ、下記アドレス宛にメールをお送りください。

①お名前 ②ご住所 ③電話番号 ④登録メールアドレス

※ご記入いただいた情報は、法人誌のメール配信のみに使用し、目的外の利用や許可なく第三者に提供することはありません。

※お申込み受け付け後、登録完了メールをお送りいたします。お申込み後2週間経っても届かない場合は、お手数ですが下記までご連絡ください。

✉info@associe.org ☎053-545-9754

Instagramを始めました

Follow us!／



@hamamatsu_associe_official